

マイコンキットと電子工作キットの通販ショップ
マイコンキットドットコム
 www.MYCOMKITS.com

MSC-111B 10°Cから 70°Cまで加熱・冷却可能！
 ペルチェ素子付き加熱冷却装置組み立てキット

マイコンキットドットコムの「MSC-111B 10°Cから 70°Cまで加熱・冷却可能！ペルチェ素子付き加熱冷却装置組み立てキット」は、小さな保温庫や保冷库の製作や、温度制御した培養実験などを行うことができるペルチェ素子と大小2個の放熱器と強制空冷ファン2個を使用した加熱冷却装置の組み立てキットです。ペルチェ素子そのものの制御には、ペルチェ素子に対応した温度コントローラ、たとえば「MK-515 温度コントローラキット」と、その電源装置(12V、4A)が必要です。別途ご購入ください。

◆特長◆

- 10°Cから 70°Cまで加熱・冷却可能
- 小さな保温庫や保冷库製作や培養実験に適した大小2個の放熱器と大小2個の強制空冷ファンとペルチェ素子が付属

◆ペルチェ素子の仕様と機能◆

電源電圧 DC12V
 消費電流 最大約4A
 加熱冷却温度範囲 約10°Cから約70°C

◆DCファンの2個の仕様と機能◆

電源電圧 ともにDC12V
 消費電流 大型 約300mA
 小型 約100mA
 サイズ 大型 92x92x25mm
 小型 40x40x10mm

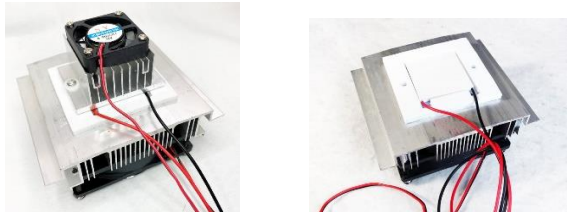
◆組み立て◆

組み立てる前に、部品リストの部品が入っているか確認してください。製作時は、製品ページの製作例(カラー)も参照してください。

◆◆2種類の完成形があります。用途によって異なります◆◆

注意：小型放熱器と小型空冷ファンは保温庫や保冷库やエアコンを製作する場合にだけ使用します。電子素子の冷却・加熱実験や培養実験では基本的に不要です。組み立てる前にお使いになる使用方法、使用環境をよくご検討ください。完成後に小型放熱器と小型空冷ファンの取り付け、取り外しを行うためには背面の大型強制空冷ファンを取り外す必要があります。

<完成形1>保温庫や保冷库 <完成形2>培養実験など



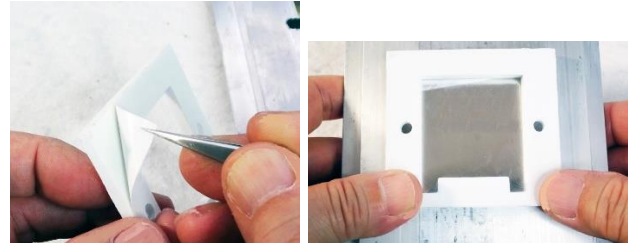
↓セットの内容・・左上から時計回りで、大型強制空冷ファン(92x92x25、12V)、ファン用ガード、ネジ10本(3種)、

絶縁ワッシャ4個、ナット2個、クッション、小型放熱器(60x45x30)、熱伝導シート2枚(40x40、水色)、ペルチェ素子(40x40、12V6A)、小型強制空冷ファン(40x40x10、12V)、大型放熱器(120x100x25)(単位はmm)。注意：シリコングリスが同梱されている場合があります。



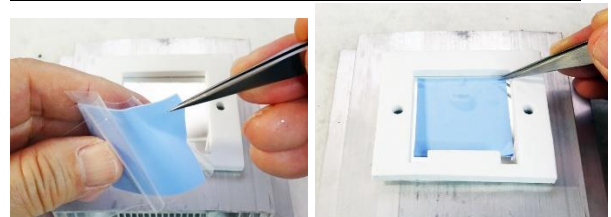
◆ペルチェ素子の位置を決め、圧力を分散するクッションを貼り付ける。

ペルチェ素子が実装される中心部分の余分なクッションと、ネジ穴部の2か所の丸いクッションを取り除きます。ピンセットなどで裏面の紙を取り除き、接着剤が付いた面を大きな放熱器に位置に注意して貼り付けます。そのとき、大きな放熱器の2個のネジ穴と、クッションの2個の穴の位置をあわせて貼り付けます。



◆熱伝導シート1枚を貼り付ける

ピンセットなどで透明シートに張り付けられている水色の熱伝導シートを慎重にはがし、クッションの真ん中にゆっくりと貼り付けます。注意：熱伝導を向上させるためにシリコングリスを使用することが一般的です。お持ちの場合は付属のシートではなくシリコングリスをお使いください。しかし、アマチュアには取り扱いが難しいので、シリコングリスの使用になれていない場合は、熱抵抗が少し悪いです。熱伝導シートの利用をおすすめします。



◆ペルチェ素子を貼り付ける

MSC-111B 10℃から 70℃まで加熱・冷却可能！
 ペルチェ素子付き加熱冷却装置組み立てキット

付属のペルチェ素子の向きに注意して貼り付けます。写真のように赤い電線が左、黒い電線が右になるように貼り付けます。

注意:この向きの場合、付属のペルチェ素子は、赤線がプラスの時に見えている面が加熱され、マイナスの時に見えている面が冷却されます。



注意: 次の製作工程は2種類(完成形1と完成形2)あります！

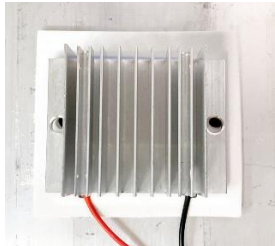
重要:「完成形2: 培養実験など」の構成では、小型放熱器と小型空冷ファンを取り付けず、次に大型放熱器に大型強制空冷ファンをねじ止めします。「◆強制空冷ファンを取り付ける」の項目にお進みください。

重要:「完成形1: 保温庫や保冷库」の構成では、次に小型放熱器、そして小型空冷ファンを取り付けます。

◆小型放熱器と小型空冷ファンを取り付ける
 最初に熱伝送シート(40x40)をペルチェ素子の上に貼り付けます。下の製作例の写真では温度センサーをペルチェ素子の上に張り付けています。直接貼り付けずに、保温庫や保冷库の中の空間に配置し、温度制御することも可能です。用途によって、お持ちの温度コントローラ付属の温度センサーを取り付けてください。



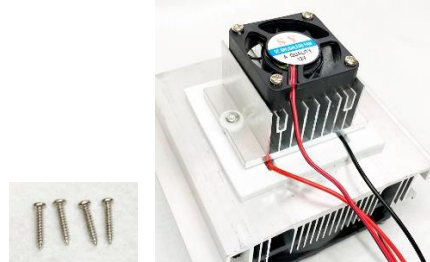
小型放熱器をその上に置きます



上面または背面(大型放熱器側)から2個(下の写真)のねじに絶縁ワッシャを入れて小型放熱器を固定します。**注意:**強くネジをしめないでください。ペルチェ素子が壊れる場合があります。

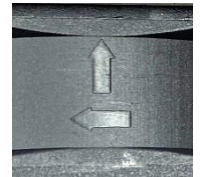


「完成形1: 保温庫や保冷库」の構成では、次に小型空冷ファンをタッピングネジ4個で小型放熱器のフィンにねじ込みます。**注意:**この時、空冷ファンの向きに注意してください。風が外に向かって吹くように取り付けます。この時、写真のようにファンのラベルが見えます。小型放熱器にネジ穴はありません。

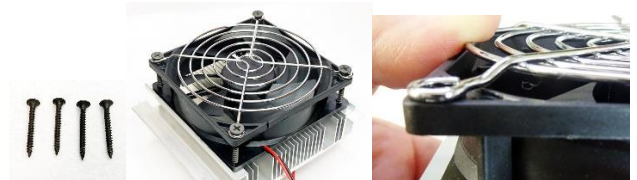


◆強制空冷ファンとファンガードを取り付ける
 強制空冷ファン(向きに注意)の上にファンガード(向きに注意)を配置し、タッピングネジで、大型放熱器のフィン(放熱板)のすきまにネジ(タッピングネジ、4本)を挿入し固定します。大型放熱器にはネジ穴はありません。

注意:強制空冷ファンの向きに注意してください。ファンには向き(オモテとウラ)があります。写真のように円形のラベルが張り付けられている面を放熱器に向けて取り付けてください。風が放熱器に当たる方向です。側面に風の向きが矢印で描かれています。ファンの電線が、ペルチェ素子の電線と同じ方向に出るようにファンを取り付けてください。

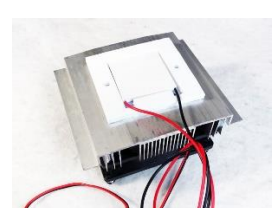


注意:ファンガードには向き(オモテとウラ)があります。誤ると、ファンガードがファンの羽に当たります。注意して取り付けてください。正しい向きに取り付けた場合、ファンガードの中心部がファンの羽より数mm浮いている状態になります。



以上で完成です。

<完成形1>保温庫や保冷库 <完成形2>培養実験など



MSC-111B 10℃から 70℃まで加熱・冷却可能！
 ペルチェ素子付き加熱冷却装置組み立てキット

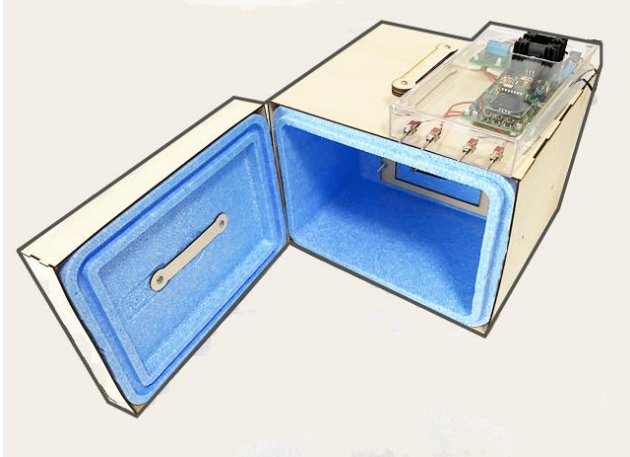


←背面は同じ

◆保温庫製作例◆

組み立てられたMSC-111B(小型放熱器と小型強制空冷ファン付き)を使用して保冷库/保温庫を作る製作例です。弊社製のペルチェ素子用温度コントローラ「MK-515」と市販の12V 5A(60W)の電源を使用しています。製作例では、大型空冷ファンと小型空冷ファンを駆動するためにDC12Vを接続し、その電源スイッチ2個を取り付けています。MK-515の電源スイッチとスタートスイッチとして外付けのトグル式スイッチを取り付け、ともに100円ショップで販売されている透明ケースに実装しています。

<外観>



<製作手順>

1. 100円ショップなどで販売されている発泡スチロール製の小型のクーラーボックスの底面に小型放熱器を挿入するための穴(64x57mm)をあけます。側面の取っ手をスチロールカッター(ニクロム線式カッター)などで取り去ります。

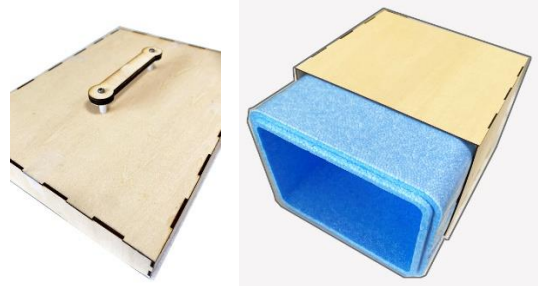


2. 小型放熱器を内側にして、穴に挿入します。「口」の字型の木製固定ジグ2個で両面から固定します。

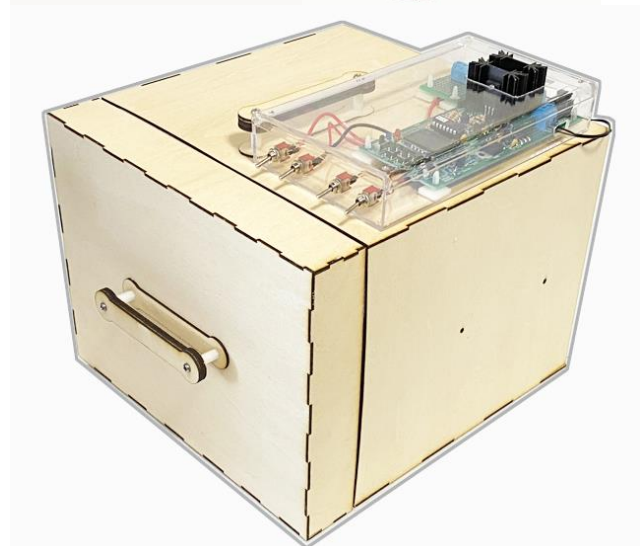
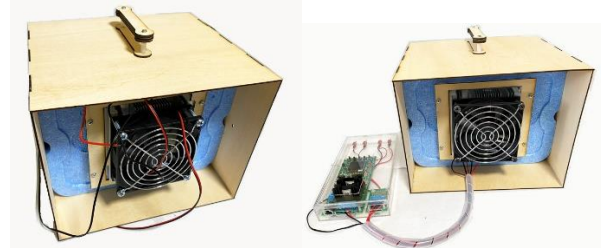


3. シナベニア材(2mm厚)を切断し、木製カバーを製作し

ます。



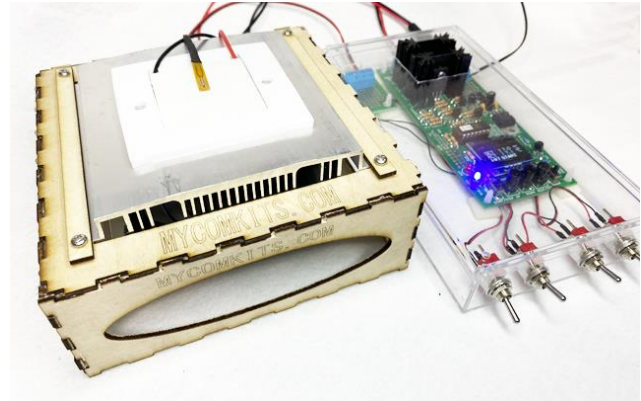
4. 穴のすきまからMK-515の温度センサーを挿入し、小型放熱器の近くなど、適当な位置に固定します。これで完成。



◆部品の加熱冷却実験や培養実験用の台の製作例◆

組み立てられたMSC-111Bを使用して加熱冷却実験や培養実験用の台を作る製作例です。**注意:素子の実験や培養実験のために金属トレイを上面に置いてもいいです。**

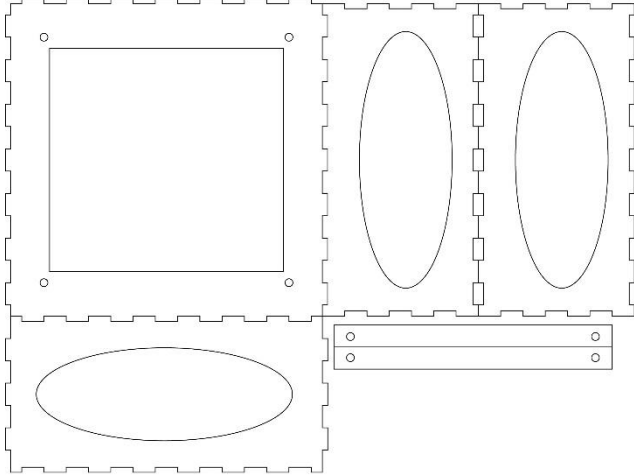
<外観>



MSC-111B 10°Cから 70°Cまで加熱・冷却可能！
 ペルチェ素子付き加熱冷却装置組み立てキット

製作手順:

1. 2mm厚のシナベニア材を図の通りに切断します。



(側面の板は4枚必要です。図では3枚ですが。)

2. 木工用の接着剤やホットグルーですべての部品を接着し、上面の角穴にMSC-111Bの大型放熱器を通し、固定用の細長い木片をねじ止めし固定します。これで完成。

◆接続方法◆

お持ちのペルチェ素子用の温度コントローラを接続してください。ここでは、「MK-515 温度コントローラ」の接続例を説明しています。

1. **ペルチェ素子接続:** ペルチェ素子の赤線、黒線をお持ちの温度コントローラに接続してください。MK-515 の場合は、赤線を P+に、黒線を P-に接続します。

2. **温度センサーの接続:** MK-515 に付属の電線付き温度センサー(サーミスタ)を MK-515 のターミナルブロック(J3)に接続します。極性はありません。温度センサー(先端部分。茶色)をペルチェ素子に直接貼り付けるか、または、お持ちの保温庫、保冷库の適切な位置に取り付けます。



←温度センサー

3. **空冷ファン 2 個の接続:** DC12V(500mA 以上)の電源を極性に注意して接続します。大型空冷ファン(消費電流約 300mA)、小型空冷ファン(消費電流約 100mA)ともに、赤色がプラス、黒色がマイナスです。

◆問合せ先◆

関連する詳細資料は以下のマイコンキットドットコムのWEB サイトから入手してください。

<https://www.mycomkits.com>

不明な点は下記の Email アドレスにお問い合わせください。
support@mycomkits.com

部品表 - MSC-111B

ペルチェ素子(40x40mm, 12V6A)	1
大型放熱器(120x100x25mm)	1
小型放熱器(60x45x30mm)	1
大型強制空冷ファン(12V用, 92x92x25mm)	1
小型強制空冷ファン(12V用, 40x40x10mm)	1
ファン用ガード	1
ネジ 10 本(3 種)	1
ナット	2
絶縁ワッシャ	4
クッション	1
熱伝導シート(40x40mm)	2

注記: 内容は変更される場合があります。不明な場合はお問い合わせください。